

都立4大学の研究費の現状と課題

4大学の学長に交付し、学内において講座・研究者ごとに配分

研究費の配分対象や単価が大学により異なる

特定研究費の額・執行方法も大学により異なる

大学間または学部横断的な共同研究がない

教員にインセンティブを与える研究費の体系となっていない

講座研究費	都立大学		15年度 当初予算額 の積算単価 (単位:千円)
	実験系	非実験系	
5人講座	19,120	5,469	
3人講座	10,479		

教員研究費	科技大・保科大		短大	
	実験系	非実験系	実験系	非実験系
教授	1,531	499	1,269	418
助教授・講師	919	294	775	248
助手	273		229	

	都立大学	科技大	保科大	短大
総長特別研究費	100,000	9,362	11,294	5,414

16年度試行的実施

16年度予算知事原案

各大学費 大学管理費 (大学管理本部の予算)として予算化

研究費配分委員会の設置

1 構成員

経営準備室の構成員が兼ねる
(理事長予定者、学長予定者、弁護士、監査法人代表、大学管理本部職員、学長予定者が指名する教員)

検討委員会の下に幹事会(事務的検討組織)を置く

2 検討内容

新大学における研究費の配分方法や研究規模、執行体制

学部横断的な研究の奨励等

COE選定研究への重点配分

競争的研究費配分制度の導入

16年度の研究費配分基準・方法

新大学での研究費配分を試行実施

今後の方向性

16年度研究費予算案
約10.1億

第一次配分

基礎的研究費分

第二次配分

重点配分研究費

申請 審査 配分

検討スケジュール

1月16日 予算知事原案発表

2月中旬 検討委員会開催

2月中旬 一次配分案決定

16年度前半 二次配分検討 決定

検証

16年度末 新大学における研究費配分制度決定